

(午後 2 時 0 0 分 開会)

○平山伸二議長

定足数に達しておりますので、これより令和 7 年度第 2 回大牟田・荒尾清掃施設組合議会定例会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に印刷配付のとおりでございます。御了承をお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

日程第 1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期については、代表者会の御決定どおり、本日一日限りと定めたいと存じますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者がある〕

○平山伸二議長

御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

次に日程第 2、本定例会の会議録署名議員を指名いたします。

2 番 古庄和秀議員

4 番 元山孝雄議員

以上の両議員を指名いたします。

次に日程第 3、議案第 3 号 令和 6 年度大牟田・荒尾清掃施設組合一般会計決算の認定について、議案第 4 号 令和 7 年度大牟田・荒尾清掃施設組合一般会計補正予算、報告第 1 号 令和 6 年度大牟田・荒尾清掃施設組合一般会計予算継続費に係る逡次繰越しについての 3 件を一括議題として、管理者に提案理由の説明を求めます。

関管理者。

〔関 好孝管理者 登壇〕

○関 好孝管理者

本日、令和 7 年度第 2 回大牟田・荒尾清掃施設組合議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には公私とも御多用の中、御出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

ただいま議長から説明を求められました提出議案 3 件の概要について、御説明いたします。

議案第 3 号につきましては、令和 6 年度の一般会計決算の認定に関するものであります。

令和 6 年度決算につきましては、9 8 1 万 6, 0 0 0 円の実質収支の黒字となっております。

それでは、令和 5 年度決算額との比較におきまして、大要を申し上げます。

歳入につきましては、総額16億5,191万7,000円で、5年度と比べ9,090万7,000円の減となっております。

歳入の主なものは、大牟田・荒尾両市からの負担金で、5年度と比べ3,230万1,000円の減となっております。これは、歳出が減額したことによるものであります。

次に歳出につきましては、総額16億2,063万9,000円で、5年度と比べ1億57万5,000円の減となっております。

歳出の主なものは衛生費で、5年度に支出いたしました新ごみ処理施設建設用地購入費が皆減となったことなどから、3億7,006万6,000円の減となったものでございます。

次に、議案第4号 令和7年度一般会計補正予算議案につきましては、新ごみ処理施設の整備について、人件費や資機材の高騰が続いていることから、請負事業者より工事請負契約書約款第26条に基づく請負代金額の変更の協議について申請がなされたことを受け、概算請求額であります20億2,642万円を増額し、継続費の変更を行うものであります。

補正額につきましては、継続費の年割額の変更に伴い、歳出の衛生費を1億4,184万5,000円増額いたしております。

歳入につきましては、増額分としまして、分担金及び負担金として構成団体であります大牟田市からの負担金1,669万5,000円、荒尾市からの負担金814万4,000円、国庫支出金として1,989万円、組合債として9,730万円を計上いたしております。

また、減額分としまして、令和6年度の決算が確定しましたことから、令和6年度の繰越金18万4,000円の減額を計上いたしております。

この結果、補正額は1億4,184万5,000円の増額となり、補正後の一般会計予算は、歳入歳出それぞれ31億934万円となります。

最後に、報告第1号につきましては、令和6年度の一般会計予算継続費に係る逐次繰越しに関するものであります。

以上が、提出議案の概要でございます。

何とぞ、御審議の上、御協賛いただきますよう、お願い申し上げます。

〔関 好孝管理者 降壇〕

## ○平山伸二議長

続いて、決算の概要について会計管理者に説明を求めます。

古家会計管理者。

〔古家真弓会計管理者 登壇〕

## ○古家真弓会計管理者

令和6年度の歳入歳出決算について、お手元の資料「歳入歳出決算事項別明細書」「実質収支に関する調書」「財産に関する調書」、その中の款項別歳入及び歳出の各総括表に基づきまして、簡単にその概要を御説明申し上げます。

なお、金額につきましては、千円未満の額を四捨五入させていただきます。

最初に、全体について御説明いたします。まず、1・2ページをご覧ください。1・2ページをご覧いただきたいと思います。

款項別歳入総括表でございます。一番下の段、予算現額17億4,316万円に対し、収入済額は16億5,191万7,000円となっております。

次に、3・4ページをお願いいたします。3・4ページです。

こちらは、款項別歳出総括表でございます。同じく一番下の段、予算現額17億4,316万円に対し、支出済額は16億2,063万9,000円となっております。これにより、歳入歳出差し引きの実質収支は3,127万8,000円となりますが、この中には、翌年度へ繰り越すべき財源2,146万2,000円がありますので、実質収支は981万6,000円の黒字となり、また、この実質収支額から前年度の実質収支額2,161万1,000円を差し引いた単年度収支は、1,279万5,000円の赤字となっております。

続いて、各款について御説明いたします。恐れ入りますが、1・2ページにお戻りください。1・2ページです。

まず、歳入でございますが、1款 分担金及び負担金が11億8,135万7,000円となっており、歳入全体の71.5%を占めております。

このほか、2款 国庫支出金が299万1,000円、3款 財産収入が4億3,711万3,000円、4款 繰越金が2,161万1,000円、5款 諸収入が234万5,000円、6款 組合債が650万円となっております。

次に、また3・4ページをお願いいたします。3・4ページです。

歳出の主なものは、3款 衛生費でございます。支出済額は11億6,693万9,000円となっており、翌年度繰越額が6,516万2,000円であります。歳出全体の72%を占め、その内訳は、ごみ処理費とごみ処理施設建設費となっております。

このほか、1款 議会費が133万6,000円、2款 総務費が599万7,000円、4款 公債費が928万円、5款 諸支出金が4億3,708万7,000円となっております。

以上、簡単に決算の概要を御説明いたしました。御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

〔古家真弓会計管理者 降壇〕

○平山伸二議長

引き続き、決算審査についての意見を監査委員に求めます。  
近藤監査委員。

〔近藤克也監査委員 登壇〕

○近藤克也監査委員

皆さん、こんにちは。監査委員の近藤でございます。

令和6年度大牟田・荒尾清掃施設組合歳入歳出決算審査につきまして意見を申し述べさせていただきます。

審査に付されました令和6年度大牟田・荒尾清掃施設組合歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、並びに財産に関する調書につきましては、それぞれ地方自治法施行令第166条、同施行規則第16条、同じく第16条の2に準拠して調製され、関係諸帳簿、証拠書類と係数は符合し、いずれも適正に表示されているものと認めました。

以上でございます。

〔近藤克也監査委員 降壇〕

○平山伸二議長

お諮りいたします。

これより質疑に入るところでございますが、代表者会で御協議いただきましたとおり、本案についての質疑、さらには資料等に基づく詳細な説明については全員協議会をお願いいたします。休憩いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者がある〕

○平山伸二議長

御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。  
しばらく休憩いたします。

(午後2時12分 休憩)

---

(午後3時20分 再開)

○平山伸二議長

それでは、本会議を再開いたします。

お諮りいたします。

議案第3号及び議案第4号について、事前に討論の通告はあっておりませんので、直ちに採決に入りたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者がある〕

○平山伸二議長

御異議なしと認めます。よって、採決に入ります。

○平山伸二議長

まず、議案第3号 令和6年度大牟田・荒尾清掃施設組合一般会計決算の認定について採決いたします。

議案第3号を原案どおり認定することに賛成の議員は挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

○平山伸二議長

挙手全員。よって、議案第3号は原案どおり認定されました。

続いて、議案第4号 令和7年度大牟田・荒尾清掃施設組合一般会計補正予算について採決いたします。

議案第4号を原案どおり可決することに賛成の議員は挙手をお願いいたします。

〔賛成者挙手〕

○平山伸二議長

挙手全員。よって、議案第4号は原案どおり可決されました。

お諮りいたします。

以上で、本定例会に予定されました議事をすべて終了いたしました。これにて閉会したいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者がある〕

○平山伸二議長

御異議なしと認めます。

それでは、第2回定例会はこれをもって閉会いたします。

(午後3時20分 閉会)

---

以上記録第一次責任者

主査 上杉 彰子

---

地方自治法第123条第2項及び大牟田・荒尾清掃施設組合議会会議規則第36条の規定により、ここに署名する。

議長 平 山 伸 二

議員 古 庄 和 秀

議員 元 山 孝 雄